

平成26年度第3回宇都宮市民大学運営協議会

日 時 平成26年12月2日（火）

午前10時30分～

会 場 中央生涯学習センター

205, 206 学習

（中央生涯学習センター2階）

次 第

1 開 会

2 議 題

（1）宇都宮市民大学運営協議会役員の選出について

（2）平成26年度宇都宮市民大学後期講座の実施状況について・・・資料1

（3）平成27年度宇都宮市民大学生涯学習コーディネーター

企画講座の決定について・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料2

3 そ の 他

4 閉 会

宇都宮市民大学運営協議会委員名簿

任期：宇都宮市民大学運営協議会運営要領第4条の規定による期間
(平成26年9月1日～平成28年8月31日)

No.	氏名	所属団体等役職
1	あいば えつお 饗庭 悦夫	作新学院大学・作新学院大学女子短期大学部 事務局長
2	いしづか みきお 石塚 幹男	株式会社 下野新聞社 編集局総務部長
3	おかだ かずなり 岡田 一成	宇都宮共和大学 事務局長
4	かわもと きよし 川本 清	帝京大学 宇都宮キャンパス 事務長
5	こぼり きょうこ 小針 協子	とちぎボランティアNPOセンターぽぽら 主任研究員
6	しまの やすお 島野 安雄	文星芸術大学 教授
7	たかせ かずや 高瀬 一也	株式会社 栃木放送 報道制作局長
8	はせがわ きょうこ 長谷川 京子	宇都宮市生涯学習センター運営審議会 委員
9	ますだ としかず 増田 寿一	公益財団法人 とちぎ未来づくり財団 事務局長
10	みこがい ひさお 御子貝 久男	宇都宮市生涯学習コーディネーター

(五十音順)

◎ 会長 ○ 副会長 ◇ 監事

平成26年度宇都宮市民大学後期講座の実施状況について

1 合同開講式・公開講座

平成26年度後期合同開講式・公開講座を下記のとおり開催した。

(1) 開催日時

平成26年10月22日(水) 午後2時～午後4時

(2) 会場

作新学院大学 作新清原ホール

(3) 参加者数

164名

(4) 合同開講式

ア 実施内容

- ・ 主催者挨拶 宇都宮市教育委員会 教育次長 檜原 貞亮
作新学院大学 学長 太田 周 氏
- ・ 来賓挨拶 宇都宮市生涯学習センター運営審議会 委員長 増渕 幸男 氏
- ・ 受講者証交付 宇都宮市教育委員会教育次長より受講者代表2名へ交付

イ 受講者の感想・意見

- ・ ひとつの形として、今後の講座に対する認識の再確認ができ、良かったと思う。
- ・ 講座の始まりであり、けじめをつけるためにも、開講式はしっかりやるべきだと思う。
- ・ 形式的で、セレモニーは必要ないと思う。
- ・ 専門講座ごとに開講式を行うほうが良いと思う。

ウ 評価

受講者のアンケートでは、合同開講式を不要とする意見が1割程あったが、7割以上が「良かった」と評価している。

(5) 公開講座

ア 実施内容

- ・ 講師 笠原 彰 氏
(作新学院大学 経営学部 スポーツマネジメント学科 准教授)
- ・ テーマ 「健康力を高めるメンタルトレーニング
～心と身体をキレイに保つ秘訣とは～」
- ・ 講義内容 スポーツ心理学を基本としたメンタルトレーニングを学ぶことで、より豊かな人生が送れるよう、思考と行動に工夫を加える秘訣を見つける講座

イ 受講者の感想・意見

- ・ 実践的で、日常に役立つ講座で良かった。
- ・ 具体的でわかりやすく、大変参考になった。
- ・ 若い世代向けの内容ではないか。
- ・ 専門講座のみの受講とさせて頂きたい。

ウ 評価

受講者アンケートでは、「良かった」「どちらかといえば良かった」との意見が9割近くあり、満足度の高い講座であったといえる。

講義は、実践を交えた興味を引く内容であり、「今後に活かしていきたい」といった前向きな意見が多く寄せられた。

⇒ 別紙1参照

2 専門講座

平成26年度後期は6講座を開催した。「公開講座」を全ての専門講座の第1回目として位置づけている。

(1) 講座数

6講座（※公開講座を除いた回数はそれぞれ4回～8回）

(2) 周知方法

広報うつのみや（平成26年9月号）、市ホームページ、パンフレット、チラシ

(3) 開催期間

平成26年10月28日～12月22日（公開講座を除く）

(4) 募集定員等

募集定員320名、応募者数438名、受講者数337名

(5) 講座内容

⇒ 別紙2参照

平成26年度宇都宮市民大学後期合同開講式・公開講座 アンケート結果



◇開催日時:平成26年10月22日(水)
午後2時～午後4時
◇開催場所:作新学院大学
◇受講者数:164名
◇アンケート回収数:120名
◇出席来賓 1名
◇出席主催者 11名

受講者について(全体)		区分	人数	割合
<p>(1) 年齢</p>		1 20歳未満	0	0%
		2 20代	0	0%
		3 30代	1	1%
		4 40代	10	8%
		5 50代	6	5%
		6 60代	43	35%
		7 70代	50	41%
		8 80歳以上	10	8%
		無回答	0	0%
		合計	120	100%
<p>(2) 性別</p>		区分	人数	割合
		1 男性	50	41%
		2 女性	64	53%
		無回答	6	5%
		合計	120	100%
<p>(3) 公開講座と専門講座</p>		区分	人数	割合
		1 公開講座のみ受講	12	1%
		2 公開講座と専門講座を受講	99	82%
		無回答	9	7%
		合計	120	100%
アンケート結果		区分	人数	割合
<p>合同開講式について</p>		1 とても意義がありよかった	53	44%
		2 どちらかといえば意義があった	39	32%
		3 どちらかといえば意義があるとはいえない	10	8%
		4 意義があるとはいえない	6	5%
		無回答	12	1%
		合計	120	100%
公開講座について		区分	人数	割合
		1 とてもよかった	81	67%
		2 どちらかといえばよかった	26	21%
		3 どちらかといえばよくなかった	3	2%
		4 よくなかった	2	1%
		無回答	8	6%
		合計	120	100%

平成26年度宇都宮市民大学後期専門講座

No.	講座名 (開講数) 【講座コース】	講 師	開催 期間	(募集定員) [応募者数] 受講者数
1	「柳田國男の可能性」と「とちぎ学」、 まちづくりへの提言 (全8回) 【ふるさと地域学コース】	作新学院大学 人間文化学部 特任教授 小田 富英 氏, 経営学部 特任教授 橋立 達夫 氏, 作新学院大学女子短期大学部 教授 西田 直樹 氏	10/28 ～12/16	(50) [49] 45
2	老後を安心して暮らすために ～今、何をどうすべきか～ (全7回) 【今を読み解く現代社会コース】	トータルライフ研究所 代表 山神 克允 氏, 介護予防指導士 藤原 秋子 氏, 高齢者住宅入居相談センター長 藤森 洵子 氏, 健康生きがいづくりアドバイザー 小川 渚 氏, FPプラザ・あい21 代表取締役 鷺山 俊男 氏, 社会人落語家 三遊亭 圓塾 氏(平井 幸雄 氏), 健康管理士 藤井 敬三 氏	11/4 ～12/16	(70) [57] 51
3	仏像の歴史を探る ～素晴らしい仏さまとの出会いを求めて～ (全7回) 【暮らしを彩る教養・文化コース】	文星芸術大学 芸術理論専攻 専任講師 大澤 慶子 氏	10/30 ～12/11	(70) [147] 83
4	「和食」文化を見つめ直そう ～自然の豊かな食材で、健康で長寿な食生活を～ (全7回) 【暮らしを彩る教養・文化コース】	東京家政学院大学 名誉教授 江原 絢子 氏, 東京農業大学 名誉教授 小泉 武夫 氏, <small>そうぼまれ</small> 惣 誉 酒造株式会社 代表取締役 河野 遵 氏, フードスタイリスト 遠藤 文香 氏, 料亭 明治屋 代表取締役 稲葉 敏明 氏, 文化庁 文化財部 伝統文化課 職員	11/7 ～12/19	(50) [100] 85
5	国の曙「弥生時代」を知る ～西から東、そして栃木へ～ (全6回) 【暮らしを彩る教養・文化コース】	栃木県立しもつけ風土記の丘資料館 館長 藤田 典夫 氏	11/10 ～12/22	(50) [54] 49
6	自分を伸ばす 「コミュニケーション」 (全4回) 【コミュニケーション学コース】	宇都宮大学 名誉教授・作新学院大学 特任教授 木村 寛 氏, 宇都宮大学 国際学部 教授 中村 真 氏, とちぎテレビ「ニュースワイド21」アナウンサー 篠田 和之 氏, NTTドコモ あんしんインストラクター	11/7 ～12/5	(30) [31] 24
合 計				(320) [438] 337

※ () の回数には、公開講座を除く

平成27年度宇都宮市民大学生涯学習コーディネーター企画講座の決定について

1 宇都宮市民大学講座企画運営選考委員会の開催状況

- (1) 開催日 平成26年11月27日(木)
- (2) 場所 中央生涯学習センター 205, 206 学習室
- (3) 出席者 委員9名(1名欠席)
⇒ 別紙3参照
- (4) 応募数 25企画
⇒ 別紙4参照
- (5) 審査方法 企画者によるプレゼンテーションの審査
- (6) 選考数 10講座(3コース)
- (7) 選考基準 ⇒ 別紙5参照

【参考】

コース	内 容
I 郷土を愛する 地域・文化・歴史コース	地域の歴史や文化、産業、自然、民俗など地域の特質を学び、郷土に誇りや愛着をもつための講座
II 今を読み解く 現代社会コース	個人や社会を取り巻く環境がめまぐるしく変化する現代社会において、より賢く快適に暮らしていくため、社会の流れを読み解き、暮らしに生かしていく知恵を学ぶ講座
III 暮らしを彩る教養コース	芸術・文学・科学のほか、先進技術など広範で学術的なテーマから深い教養を身に付け、潤いのある生活を送るための講座

2 選考結果

コース別選定状況は下記のとおり。

分野(コース)	コーディネーター 企画		合計 講座数	(参考) 応募数
	前期	後期		
I 郷土を愛する地域・文化・歴史コース	2	1	3	7
II 今を読み解く現代社会コース	1	2	3	9
III 暮らしを彩る教養コース	2	2	4	9
合計	5	5	10	25

(1) 「I 郷土を愛する地域・文化・歴史コース」

【選考結果】

3グループ、1個人から7本の企画提案があり、No.1、No.3、No.7の3企画を選定した。

【講座内容】

No.1 「宇都宮市&栃木県の魅力」

～わが町の物作り産業観光を学ぶ～

様々な切り口から、栃木の産業や伝統について学ぶ講座。日本の近代化を支えた絹織物産業等の産業や伝統を掘り起こして、宇都宮市や栃木県の魅力を再発見することをねらいとする。

(委員コメント)

- ・ 地域のものづくりを学ぶことにより、興味・関心が高まり、地域への愛着が高まると思う。
- ・ 多様な郷土文化に触れられる面白い企画だと思う。

No.3 「下野に咲いた仏教文化 I」

～古代・中世の仏像～

県北、特に那珂川流域に残された下野の優れた仏像について学ぶ講座。祖先の信仰や意志によってまもられてきた仏像に手を合わせ、その風土や時代に思いを馳せることで、今の時代に感謝することをねらいとする。

(委員コメント)

- ・ 身近にある仏像への関心が高まるとともに、地域を広く知ることに繋がると思う。
- ・ 受講後のグループ化や学び直し等の見られる企画であることを考えると発展性もあるのではと思う。

No.7 「中世宇都宮氏、興亡の400年」

中世宇都宮氏400年余の興亡の歴史について、新たな研究成果を踏まえながら、多面的に学ぶ講座。中世宇都宮氏が、下野のみならず関東、そして西日本に与えた影響について再認識することで、受講者が地域活動に参加する契機となる学習機会を提供することをねらいとする。

(委員コメント)

- ・ 宇都宮氏を学び、知ることで、宇都宮市の歴史への興味が高まると考えられる。
- ・ 宇都宮市民にとって興味を持つ企画内容と思われる。

(2) 「Ⅱ 今を読み解く現代社会コース」

【選考結果】

5グループから9本の企画提案があり、No.3, No.4, No.7の3企画を選定した。

【講座内容】

No.3 「若々しい脳で年齢を愉しみませんか」

脳の育て方や栄養、運動、知的好奇心の育て方といった様々な観点から、脳を若々しく元気に育て続ける方法について学ぶ講座。生きている限り自分らしく、楽しいと感じられる人生を目指すための一助となることをねらいとする。

(委員コメント)

- ・ 脳トレ的な講座であり、ニーズも高いのではないか。
- ・ 内容、対象受講者層が一致しており、適切な企画と思われる。

No.4 「元気シニアのインターネット」

～急速に変化するデジタル社会に対応、元気に生き抜こう～

デジタル社会に積極的に対応していこうとする元気シニア向けに、その現状や活用等の知識、インターネット利用のツール等について学ぶ講座。日常生活での活用方法を学ぶとともに、シニアに適するツールについても学ぶことで、デジタル社会を身近なものとするのをねらいとする。

(委員コメント)

- ・ ネットを学ぶことで、今の社会も理解できる部分がある。
- ・ インターネットについては、これからのシニアが避けては通れないテーマである。

No.7 「人生90年時代」

～笑えない時こそ笑顔をつくってみましょう～

今からでも心掛けてほしいプラス思考の習慣を身につけるために、笑いに焦点を当てて学ぶ講座。受講者が笑って帰ることで、家庭や地域に笑顔が広がり、人の輪ができることをねらいとする。

(委員コメント)

- ・ 人とのつながりが期待できる。発展性がある。
- ・ 笑いのトレーニングは非常にユニークで効果的であると思う。

(3) 「Ⅲ 暮らしを彩る教養コース」

【選考結果】

4グループ、1個人から9本の企画提案があり、No.4、No.5、No.8、No.9の4企画を選定した。

【講座内容】

No.4 「平家物語を読み解く」

～生と死の軌跡をめぐる～

代表的古典文学である『平家物語』の全体像について、物語生成の時代相を時系列的に学ぶ講座。古典文学の先人たちの生き方、死に方から現代人の生きるヒントを学び、人生を考え直すきっかけとすることをねらいとする。

(委員コメント)

- ・ 古典文学の定番であり、集客は見込まれる。
- ・ 市民の関心を引きそうな企画である。発展性も期待できる。

No.5 「郷土が誇る美術作家たち」

～“芸術の秋”画家・彫刻家・陶芸家・工芸家 いろとりどり～

栃木県という土地と様々に関わりを持ちながら、日々制作を続けてきた美術作家たちの表現に込められた思いについて学ぶ講座。作家本人の講義や、館外学習で実際に作品に触れることで、受講者の知的好奇心を満たすことをねらいとする。

(委員コメント)

- ・ 芸術を見る上で、作家本人に話を聞くことで、さらに興味・関心を高められる。
- ・ 栃木に縁のある芸術家を取り上げ、ニーズはとて高いと思う。

No.8 「物理学って何だろう」

～やりなおしの物理学～

物理学のイロハからノーベル物理学賞の物理まで、実験を取り入れながら学び、物理的思考を身につける講座。物理に関する苦手意識を緩和し、様々な学習への意欲を高めることをねらいとする。

(委員コメント)

- ・ 脳を活性化する講座であり、市民の自己啓発に繋がるのではないかと。
- ・ 物理というテーマを選んだのはユニークである。

No.9 「ここまで来た 人に役立つ生活支援ロボット」

～ロボットと拓く明日の社会～

ロボットが注目されている社会的背景，高度な技術や開発状況など，最先端技術の現状と今後の課題等を学ぶ講座。新しい技術やシステムに関心を持つことで，社会と技術の関わりを含め，広い視野で認識を深められるようになることをねらいとする。

(委員コメント)

- ・ 生活支援ロボットを取り上げている点は，今後ますますニーズの高まりがあると思う。
- ・ 趣旨・内容とも興味深いと思う。

宇都宮市民大学講座企画運営選考委員会委員名簿

任期：宇都宮市民大学講座企画運営選考委員会運営要領第4条の規定による期間
(平成26年9月1日～平成28年8月31日)

No.	氏名	所属団体等役職	出欠
◎ 1	あいは えつお 饗庭 悦夫	作新学院大学・作新学院大学女子短期大学部 事務局長	○
2	きくち ゆきお 菊池 幸男	株式会社 とちぎテレビ 報道制作局長兼報道部長	×
3	さとう ひでお 佐藤 英雄	株式会社 エフエム栃木 常務取締役	○
○ 4	しのぶ すすむ 信夫 享	宇都宮短期大学 事務局長	○
5	しまだ しげお 島田 繁雄	宇都宮メディア・アーツ専門学校 校長	○
6	すずき かつのぶ 鈴木 克伸	栃木県教育委員会事務局 河内教育事務所 所長補佐兼ふれあい学習課長	○
7	はちや だいはち 蜂屋 大八	宇都宮大学 基盤教育センター 特任准教授	○
8	おおたけ のぶひさ 大竹 信久	宇都宮市教育委員会事務局 生涯学習課 課長	○
9	つるみ さちこ 鶴見 幸子	宇都宮市教育委員会 中央生涯学習センター 所長	○
10	すずき まさお 鈴木 正夫	宇都宮市教育委員会事務局 人材かがやきセンター 地域教育指導員	○

◎ 委員長

○ 副委員長

平成26年度宇都宮市民大学講座企画運営選考委員会選考結果一覧表

(平成26年11月26日 実施)

※平成27年度実施 生涯学習コーディネーター企画運営専門講座数 10講座

コース	番号	講座名	時期	企画者	得点	コース順位
Ⅰ 郷土を愛する地域・文化・歴史	1	宇都宮市&栃木県の魅力 ～わが町の物作り産業観光を学ぶ～	前期	宙(そら)	162	3
	2	古代から現代までの宇都宮の歴史を紐解く ～まんが『うつのみやの歴史』を深掘りする～	前期	ともしび	152	5
	3	下野に咲いた仏教文化Ⅰ ～古代・中世の仏像～	前期 後期	ともしび	169	2
	4	下野の夜明け ～世直し一揆から栃木県へ～	後期	ともしび	158	4
	5	地盤・地形から宇都宮の災害を考える ～あなたの住んでいる地盤は大丈夫ですか～	前期	ともしび	144	6
	6	江戸時代の歴史を探る ～江戸と宇都宮から～	前期	栃の実	132	7
	7	中世宇都宮氏, 興亡の400年	前期	宇賀神光夫	171	1
Ⅱ 今を読み解く現代社会	1	今を生きる私たちの倫理 ～様々な出来事の判断は～	前期	よつ葉のクローバー	139	5
	2	リスク社会を生きる	前期	みやの塾	129	9
	3	若々しい脳で年齢を愉しみませんか	後期	みやの塾	146	3
	4	元気シニアのインターネット ～急速に変化するデジタル社会に対応, 元気に生き抜こう!～	前期	ジャンプ	152	1
	5	旅客機物語 ～50年振りに国産旅客機飛ぶ! 世界市場シェアゼロからの挑戦～	後期	ジャンプ	142	4
	6	子どもの発達のしかたを知ってあせらないで ～今 何が一番大切なんですか～	前期	ともしび	137	6
	7	人生90年時代 ～笑えない時こそ笑顔をつくっていきましょう～	後期	ともしび	151	2
	8	日本人の伝統精神を育んだ古典を紐解く ～儒教の教えと実践者たちに学ぶ～	前期	ともしび	136	7
	9	現在の生活の見直し ～伝わる文化・伝える文化～	前期	宙(そら)	133	8
Ⅲ 暮らしを彩る教養	1	知っておきたい食品表示の読み方 ～添加物を中心に～	前期	ともしび	132	7
	2	楽しいJAZZ入門 ～熱いジャズのリズムにのって～	後期	ともしび	126	8
	3	老いの尊さと価値 ～先人たちの智慧に学ぶ～	後期	大山真一	143	6
	4	平家物語を読み解く ～生と死の軌跡をめぐって～	前期	大山真一	150	4
	5	郷土が誇る美術作家たち ～“芸術の秋”画家・彫刻家・工芸家いろとりどり～	後期	ジャンプ	171	1
	6	国宝からみた日本美術史入門 ～日本史で読み解く国宝は実に面白い～	前期	みやの塾	112	9
	7	日本版ピラミッド古墳への旅 ～古代人のタイムカプセルから～	後期	みやの塾	146	5
	8	物理学って何だろう ～やりなおしの物理学～	前期	みやの塾	151	3
	9	ここまで来た 人に役立つ生活支援ロボット ～ロボットと拓く明日の社会～	後期	よつ葉のクローバー	169	2

※応募企画数: 前期16講座, 後期10講座(内, 館外学習実施講座13講座)(Ⅰ-3 については前・後期2回の実施を希望)

「審査項目」と「審査基準」

(プレゼンテーション審査マニュアルより抜粋)

審査項目は、下表のとおりとする。

1 審査項目

(1)	社会ニーズ	社会の変化や要請，地域の特性や文化など，本市のまちづくりやコミュニティの発展，あるいは市民の郷土理解に資する社会的な視点やねらいが盛り込まれているか。
(2)	市民ニーズ	市民が求める高度で専門的な学習ニーズをとらえているか。
(3)	構成力	設定された講座のねらいに沿った各回の展開や組み立てがされているか，また実習やワークショップなど，学習効果を高めるための工夫がされているか。
(4)	運営力	適切な講師の想定，事前準備や講座運営に対する考え方など，確実に講座を運営していくための体制が整っているか。 <u>ただし，企画応募条件において，講師の確保までは求めないこととしているため，想定講師の受諾については審査に加味しない。</u>
(5)	発展性	講座を契機とするネットワークの形成，学んだことを実践し，生かせる仕組みづくりや導入，リーダー養成に資するスキルの習得など，受講者の行動や考え方の変化を促す効果があるか。

2 審査基準

点数	審査基準
5	とても優れている
4	優れている
3	やや優れている
2	やや劣っている
1	劣っている